

科目	病態運動分析学	担当	古川 公宣	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

授業目標:動作分析の概念と手順及び方法を学ぶ。

疾患に特有な異常動作と評価結果の因果関係を学ぶ。

到達目標:動作の観察項目と評価結果の因果関係を文章で表現することができ、理学療法プログラムへ結びつけることができる。

**【履修注意】**

動作分析は、臨床実習ではもちろん、日常診療の中でも評価の中でのウェイトは大きい。本講義では、この一連の手順を理解し、解剖学的、生理学的、運動学的用語を用いて表現することを学ぶ。障害と評価結果を結びつけるためには、疾患の基礎知識や基礎医学知識が必要となるため、過去の学習を十分に復習しておくこと。

**【評価方法】**

定期試験、出席状況、受講態度などを総合的に判断する。

**【試験について】**

筆記試験

再試験対象者の条件:60点未満を対象とする

**【予習・復習】**

動作分析は運動学的知識が必要となるので再度確認をしておくこと。

各講において次回講義内容を伝達するので、必要事項を必ず予習すること。

**【教科書】**

書籍名:15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学

石川 朗, 種村留美 出版社:中山書店

**【参考書】**

指定しない

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	導入	姿勢と保持動作分析とは
2	正常動作	起き上がり, 寝返り動作, 床からの立ち上がり動作椅子からの立ち上がり, 歩行
3	脳血管疾患の姿勢・動作の特徴	姿勢異常, バランス, 片麻痺患者の動作分析半側無視の定義, メカニズム, 姿勢と動作の特徴と対応
4	脊髄損傷の姿勢・動作の特徴	概説, 姿勢・動作の特徴
5	下肢関節障害の姿勢・動作の特徴	変形性膝関節症, 変形性股関節症, その他
6	Parkinsonismの姿勢・動作の特徴	概説, 症状, 姿勢・動作の実際
7	下肢切断患者の姿勢・動作の特徴	義足使用者の基本・応用動作の能力, バイオメカニクス
8	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		